

# 防災特集

# 津波を知る

詳細

危機管理室

☎(32) 6280

地震の多い島国である日本は、昨年の東日本大震災のような甚大な津波被害を幾度となく受け、それでも海とともに生活してきました。

今回の特集では、海岸線に面した苫小牧にとって避けられない「津波」について再確認し、どのよう

## はじめに

平成23年3月11日に起きた東日本大震災で、最も多くの尊い命を奪った原因は津波でした。想定を大きく超えた津波が堤防を乗り越え、町をのみこんでいく映像は、多くの人たちの心に今も傷を残しています。

道内最大の港湾を有し、海とともに生きる苫小牧にとっても、津波被害は決して他人ごとではありません。いつ襲ってくるかわからない津波という災害について、知っておくべきポイントを見てみましょう。

## 津波を知る

津波は地震や地殻の変動などによって発生するもので、その発生を防ぐことはできません。防潮堤などで波を食い止めることはできませんが、東日本大震災のような未曾有、想定外と言われる高さの津波が来た場合には効果が無く、その教訓から「津波から逃げる」ことが一番の対策とされています。

左図は、皆さんに知っておいてほしい津波の特徴や、注意点をまとめたものです。津波から避難する際の基本となる知識ですので、聞いたことのあることでも今一度確認してください。

## 情報を知る

避難をするときに指針となるのが、

気象庁から発表される「津波警報・注意報」や、市が発令する避難勧告などの「災害避難情報」です。テレビなどから、これらの情報を受け取ることができないと、適切な避難行動ができなくなる恐れがあります。地震や津波による停電なども想定して、必要に応じた情報を得ることができるように、複数の情報収集手段を確保することが求められます。

一般的なメディア以外の情報告知手段として、本市では次の方法を取り入れています。

### 災害情報をいち早く携帯電話へ

#### 緊急速報メール

災害発生時に市内にいる方の携帯電話へ、地震情報や災害避難情報がメールで送信される「緊急速報メール」を導入しています。NTTドコモ、ソフ

トバンク、au各社の対応機種へ、無料で配信されています。

※機種によっては受信設定が必要な場合があります。対応機種、詳細な受信設定方法については、各通信会社にお問い合わせください。

### 屋外放送による情報発信

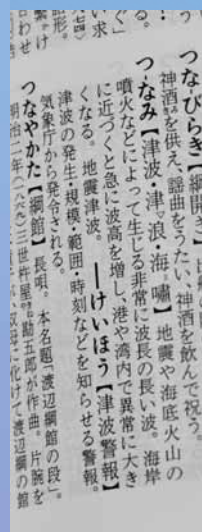
#### J-J A L E R T

市内西部地域に25基設置されている屋外スピーカーより、防災同報無線(国)が発信する緊急情報や市が発信する災害避難情報)を自動で放送するJ・A L E R T (全国瞬時警報システム)を運用しています。

### 自動的に防災放送に切り替え

#### 防災ラジオ

今年度より通常のAM・FM放送のほか、防災同報無線を受信できる防災ラジオを導入・配備します。通常のラ



出展：大辞泉

第1版(小学館)